

国際美術館といつても、ちょっとわかりづらいと思う。

☆私の意見

國立國際美術館の開館をひかえて

本間 正義

△國立國際美術館長▽



それでまず「人類の進歩と調和」の万博のテーマのもとに、古今東西の名作を展覧した万博美術館の精神を受けて、日本美術の生成展開を中心に、それと交流する世界の美術との関連を明らかにすることに焦点がむけられ、これをスジとして、各方面からの要望と関連させた展覧会を活発に行なってゆくことにした。国際美術館命名の由来もここにある。

開館記念展は、外国美術とのいわばヨコの関係を明らかにしてゆくためには、まず日本の美の原点を確かめるという趣旨から、「日本の美、その色とかたち」という企画で、十月十五日開館予定をめざし、只今準備に大忙といったところである。それと今、私が一番考えていることは、ただ見てくれだけの作品をならべて、なんとなく観客不在になつてゐる美術館のことである。私はテレビの欽ちゃんの番組で、ブラウン管をこえてくる観客へのアプローチぶりに舌を巻くことがあるが、美術館でもお客様さんとのもつと親しみ易い、楽しい雰囲気作りが出来ないのだろうか。冬などお祭り広場の向うに、離れ小島のようになつてしまふ国際美術館の、これは一番大事なことかもしれない。

万博が終つて、万博美術館をどのように使つてゆくかについて、色々な要望が各方面からおこつた。まず地元の大坂からは現代美術館に、日本美術家連盟からは造形の基本を示す美術館に、さらには模写模造を活用した教育的色彩の強い美術館に、あるいはデザイン美術館といった具合で、性格づくりがかなり難航した。

国際劇場とか国際ホテル、国際レストランからパチンコの国際会館、或いは国際興行などといった具合に、日本人はなんとも国際好きである。この時の国際には、特別の意味があるわけなく、なにか大きいものとか、新しいものといった漠然としたところでつけているものが多い。だから国際の概念は甚だいまいで、国際美術館とは一体なにをやる美術館ですか、との質問をよくうける。

若き日の画家と作家達

伊藤慶之助

△画家・春陽会会員▽

大正の末から昭和の初めにかけて、洋画の公募展覧会は日展の他には日本美術院の洋画部と二科会しかなかった。春陽会も後に日本美術院の洋画部が分かれて、小杉放庵、森田恒友、倉田白羊、山本鼎の人達が梅原龍三郎、岸田劉生、斎藤與里などをさそって創立された会で、私も春陽会ができるまでは二科会に出品していた。

その当時、二科会に出品していた私達若い画家で圓鳥会という会をつくったことがあった。東京都美術館ができる前の同じ場所にあつた竹の台陳列館と称するバラック建てのそまつな建物で、日展も二科会もこの会場で展覧会が開かれていた。

私達の圓鳥会もこの竹の台陳列館で展覧会を開いた。会のメンバーは万鉄五郎、埴原久和代、野口弥太郎、林武、木下孝則、木下義謙、虫明柏太、真田久吉、小島善太郎、児島善三郎、鈴木亞夫、伊藤慶之助などであった。

第一回は大正十年だったと思うが、一応鈴木亞夫に手紙を出して返事をもらつた。「拝復お元気の由慶賀仕ります。圓鳥会の想出はなつかしく感じます。しかし古いことなので正確な時日は忘れてしましました。私の『天の岩戸』の作品写真は残つております。目録なども外国旅行等にて紛失してしまいました。実にお役に立たなくて申訳ありません。万氏や埴原女史今は無く実に淋しいことです。近頃になって古い記録は大切にすべきことだと残念に思っています。鈴木亞夫より」

展覧会の陳列を終つた翌日の朝、上野警察の刑事が会場にやつて来て、児島善三郎の裸婦二点は風紀上よろしくないというので、撤回を命ぜられ、鈴木亞夫の『天の岩戸』は皇室を侮辱したけしからん絵だというのでこれも撤回を命ぜられた。私達は訳が解らないままにこの三点を壁からおろしたが、警察の態度が高圧的で画家を不逞のやからと心得えた言動に反感をもつた。

午後になつて読売新聞の記者が会場に来て、警察への始末書に印をおしてから、それによつて署長の撤回命令が来た上で作品を撤回すればいいのとで、もう一度『天の岩戸』を壁に掛けろということなり、他の新聞社にも連絡して翌朝の各社の紙面に『天の岩戸』の写真をいっせいに掲載した。古事記をユーモア風に解釈し、カルカチニアとして、とぼけて表現された百五十号位の大作だったから、警察には全く滑稽に見えたらしい、翌朝の新聞紙面を見て皇室侮辱罪で責任者を起訴するといつてきた。

ところが警察にとつて都合の悪いことには、不逞の絵を描いた鈴木亞夫の伯父が時の大木警視総監だったので上野警察では自分達の親分の甥の描いた絵では余り強いこともいえず、戦法をかえて温情主義に変更、始末書をポケットに入れた数人の刑事が笑を浮べて私達の印をもらいに会場に来た。私達は記者に智恵をつけられていて、会場の事務所に一升瓶を置いて虫明柏太や林武などは本当によっぽらつて、のらりくらりと刑事の相手をした。警察ではほとと困りはてて、今度は圓鳥会事務所になっていた埴原久和代女史を上野警察の留置場に監禁した。埴原女史の警察からの声にびっくりした私達は、外務省やアメリカ大使館に電話を掛けたので、女史が時の埴原アメリカ大使の妹であることが知れ大さわぎになり上野警察は恐縮して埴原女史を丁重に家におくり返して來た。各新聞ではゴシップとして毎日色々なことを



昭和3年、パリのモンパルナスで。左から筆者、木下孝則、益田義信、久米正雄

を書くので『天の岩戸』を見に来る入場者で展覧会はにぎわった。

その翌年、神戸県庁の東にある工業試験場の階上を借りて圓鳥会展を開催したことがあった。後にNHKの放送部長になられた奥屋熊郎が板宿に住んで神戸に来る芸能人、音楽会、演劇などを世話をしてくれる頃で、圓鳥会展も全て奥屋熊郎のお世話になった。

東京からは野口弥太郎、林武、鈴木亞夫と私の四人が來た。展覧会が済み、売上手数料を集めた百円をもって京都の宮川町から芸者に出ている私の姪の芸者屋へ行こうと私達四人と神戸又新日報の若い坪井甚喜記者を入れて京阪電車に乗った。

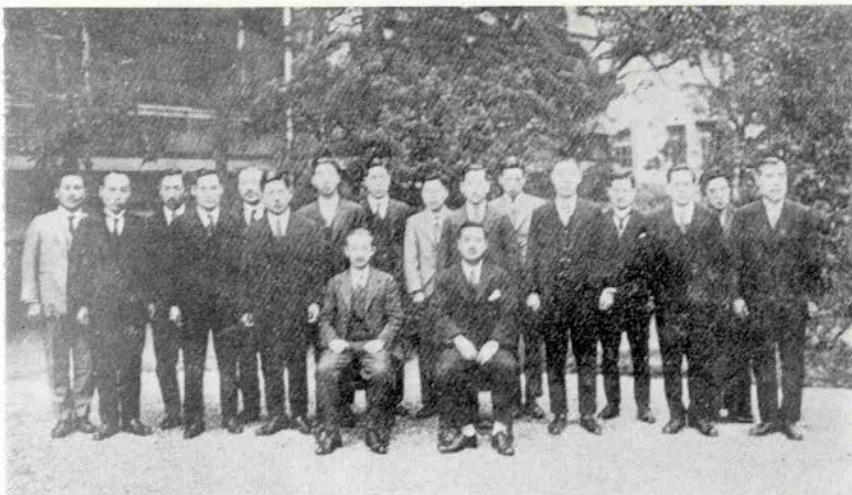
京都は一日と十五日以外は芸者の花代が大阪よりも安くなるし、伊藤の姪だった花代に足が出来てもなんとかなるだろうというので、宮川町の夕暮れどき、うた女をよんでも百円を渡した。…男は氣をつかわんもんどう。おうた姉ちゃんにもたれかかってまかしきなはれ……ということになつて、えらいさわぎになつた。途中、ベレンベレンに酔つた妓がやつて来て、微に入り細にわたつて、四十八手を講義し始めた。その一手に「けんけん猿の板けずり」というのがあって、大工の名匠が情愛のこもった手で木の肌をたんねんにまでつながめつしながら、心をこめてかんなをかけうなものであつた。

姪のうた女は、八十歳の今も祇園で常磐津文字已喜師匠として健在である。林武の生前に出版された画集にこの圓鳥会の記録が書かれているそうである。

難産をきわめた誕生

高木 正雄

△神戸商科大学学長▽



昭和4年3月、兵庫県庁内創立仮事務所前で。中央左が伊藤真雄初代校長。右が学務部長兼校長事務取扱川崎末五郎氏。

本学は去る昭和四年四月に兵庫県立神戸高等商業学校として開校されたので、昭和五十四年には創立満五十年を迎えることになる。したがつて本学は今日までいわば激動の昭和史とともに歩んできたともいえよう。本学は、次にのべるようにその誕生そのものになかなか骨が折れたのであって、まかり違えば流産の憂き目を見るところでさえあつた。

そもそも本学設置の由来は、大正十二年官立神戸高等商業学校（現神戸大学経済学部・経営学部・法学部の前身）が時勢の進運にともなつて、商業大学への昇格が決定したことに胚胎する。というのは、この商業大学には高等商業に相当する専門部を附属しないことになつていた。官立神戸高商の商大への昇格はまことに喜ぶべきことではあるが、これでは日本の玄関口である国際港都「神戸」を擁するわが兵庫県下に専門学校程度の商業教育機関を失うことになるので、何とかしてこの欠陥を補う必要があるという意見が各方面から起つてきただ。すなわち、大正十三年末の県会には「商業専門学校存置に関する意見書」なるものが提出された。他方において、県立第一神戸商業学校（通称「県商」・現県立神戸商業高等学校の前身、近く創立一〇〇年を迎える名門校）の関係者特にその同窓会及び父兄会による熱心な同校の昇格運動が展開された。そこで大正十四年、県会市部会では昇格建議案を可決するに至つたのである。県当局でもこのような情勢をふまえて色々と研究を重ねたところ、

県下に専門学校程度の商業教育機関を持つことが必要であることは十分確認したもの、何分にも第一次世界戦争後の反動恐慌、関東大震災にもとづく震災恐慌、その上昭和二年の金融恐慌と財界は不況の上に不況が重なつており、その上この間政変が相次いで起つたためにそく、時の県知事長連と県参事会は県立商業昇格の具体案の審議を始めることにしたところ、まず何よりもその財源確保に難渋したばかりでなくその上昇格にまつわる手続上の困難にぶち当つた。そこで県当局としては新たに「高等商業学校」を創設し、県商はその姉妹校として同一地区内に移転併置することが好ましいという結論に達した。

ところで、母校の昇格運動を熱心に推進していた県商同窓会を中心とする人々も、最終目標は県下に専門学校程度の商業教育機関を設立することにあったので、大乗的見地に立つて譲歩されたばかりでなく、更に進んで物わち、県商昇格準備のため集めつた資金はすべて県立高商新設のために提供されたのみならず、その後も引きつき創設準備に協力して寄附金募集中運動を継続することまで申し出られたという、実にうるわしい美談を残されたのである。他方、新設高商と県商の誘致に非常な熱意をもつていた当時の明石郡垂水町（町長田口政五郎、現垂水区の中心部）よりは同町の篤志家の寄附による山林三万坪（約十万平方メートル）を学校敷地として整地の上無償で提供する旨の申し出があり、また宇治川電気鉄道株式会社（現山陽電鉄の前身）からの大口寄附を始め、川西・沢田・小曾根その他の有志の人びとからの寄附申し出が相次いだ。そこで漸く県当局の意向も十分に固まり、そして「垂水町に県立の高等商業学校を設置して、県商も灘区原田の地（現在の海星女子学院のある



高木 正雄

明治四十四年、明石市生まれ。県立神戸高商を経て、昭和十一年東京商科大学卒業。昭和十七年、母校の教授となり現在に至る。その間、附属図書館長、学生部長、附置経済研究所所長を勤め四十八年二月より同大学学長。専攻は経済学史。

所）からここに移転する案」を昭和三年十二月末の県会に提出して、その議決を経た上急いで文部省に所定の手続をとつたのである。超えて昭和四年二月二日文部省令第十九号で「兵庫県立神戸高等商業学校設置」が認可され、同月四日兵庫県告示第五八号で「本校を明石郡垂水町に設置し、昭和四年四月から開校しその修業年限は三ヶ年とする」ことが公示され、本学はここで漸く日の目を見るに至つたのである。このようにして本学は、幸に県下並びに神戸市における各種団体及び篤志家多数の人士の協力、なんんぞく県商の同窓会及び父兄会の理解ある且つ積極的な後援により、また県当局の英断をまつてようやく生れ出たのであって決して樂々と誕生したものではない。いわば大変な難産だったのである。

時を移さず県では、本校仮事務所を三月末までは県学務部学務課内に置き、学則を公布し、生徒一五〇名を募集した。そして二月十五日川崎末五郎学務部長が校長事務取扱を命じられ、三月半ばに第一回入学試験を行い志願者五一六名の中から一六四名に入学を許可した。

四月二十二日開校式を兼ねて第一回入学式が県立第一商業学校講堂で挙行され同日付で川崎学務部長本校校長事務取扱を免ぜられ、代つて大阪商科大学（同年旧大阪高商が旧神戸高商とともに昇格したもので、現大阪市立大学商学部・経済学部・法学部の前身）教授であった伊藤真雄が校長事務取扱となつて、ここに専任校長を迎えてやつと軌道に乗り出したのである。しかし仮校舎は県商の六室を借用し、運動場は県商と共に用するという不便をしおび、教員は専任講師以上十二名、その他十一名の少人数で以つて四月二十三日から授業が始まられた。こうして雄々しく新しい第一歩が踏み出されたのである。

□ある集いその足あと

生れとする」という神戸在住の紳士淑女の集まりである。

火と下駄会 ——と柄会

三浦 保

（補戸新聞コミュニティ情報センター事務局長）



建設的な意見が飛び交っています（セントジョージにて）

この会は「昭和元年から同九年までに出生せる成人男女で構成され、婦人会員に限り昭和拾年（漢字で書くとヒトケタではないかといふ強力な意見によって）をも認め、名簿上婦人会員はすべて拾年

一、此の会に集まる者は、火の様な若い情熱を持ち、しかも雪の露路裏で下駄の二の字の跡を楽しめる人。

一、此の会に集る者は、B29が空を焦がした劫火からゲートルに下駄履きで逃げた事を知る人。

一、此の会に集る者は、とんど焼芋の味と、チャリチャリというこっぽりの音、校長先生の御名御璽、これが正月だという人。

一、此の会に集るのは、紅葉を焼いた酒の味、素足に利久を突つかけた洗い髪の女の良さを感じられる人。

一、此の会に集まる者は、銅壺に徳利をどぼんと落す音や真白の五つこはぜで柄の通った下駄をキュッと鳴らす味を忘れない人——たちなのである。

しかも例会ごとに、そのシリーズに応じて四大節（四方振り一月一日、紀元節、天長節、明治節）の歌を憶面もなく唄い、教育勅語を大声をあげて唱和するといううどあるのだろう。

アツカマシイ根性も持ち合わせていなければならない。

深夜に至るまで痛飲すべしといふ会則もあり、メンバーは男女に

かわらず酒好き、ビールを飲む人がほとんどなく、ウイスキーのビンがコロコロ空いてゆくから恐ろしい。いいかえれば酒を飲む以外に楽しみを知らないかわいそな世代なのかもしれない。

この会ほど見事に「無目的」の集いはないだろう。例会のテーマもなければゲスト講師もない。

それでも毎例会の出席率は平均70%。まさに“あの人たちに会えるから集まる”という人間中心の集団である。例会だけではない。二次会、三次会とその日話題の合った顔ぶれが飲みつけたり、ゴルフ好き同士グリーンに出たり、海へ釣りにゆく組もある。これがまた特定のままつた小グループではなく、顔ぶれがクルクル変わるもの面白い。いつてみれば中年男女の井戸端会議に徹している。

神戸を考えると、ヒトケタ族の役割は——などとむずかしい事をだれかが言い出すと「そんなことをもうええやないか」とチャチャが入る。こうして無目的の集団が一年以上高出席率を保持してつづいているのはなぜだろうか。このあたりにヒトケタ中年のヒミツがあるのだろう。

こうべに神戸らしい店を…

KOBE
NIKKEN



店舗装備のプロフェッショナル
(株) 神戸日建

本社 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20
〒 651 ☎ (078) 251-3525 (代)
東京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎ (03) 278-1369番



「みもざ」(生田区中山手通1丁目76)

歌を愛してゐるんですね



カンファーマシーへ行つて買つてたんです。それからエバンタイにもよく行つてました。私、昔から舶来品ばかりなの。

——日本の物は合わないのかしら。

淡谷 私の父は青森の呉服屋の旦那なのに、何故か舶来品が好きでね、その影響かしら。和製の最高のものはやはりいいですよっていわれるけれど、それでもダメなのが、私。色が気に入らないの。だからどんな小さなものでも舶来品。

——今の時代になつてやつと先生の化粧法みたいなことの波長が合つてきたみたいですね。周波数が。(笑)

淡谷 そうなんです。最初は気違い沙汰。(笑)

——何で覚えたのですか。

淡谷 それはね、私がコロンビアにおりました時にね、エールさんという宣伝部長が、研究しなさいって化粧品を一式揃えてくれたんです。そのなかにはまづげもあつたし、アイシヤドウもあつた。それで覚えたんです。

——いつ頃のことですか。

淡谷 二十三、四の頃。

——おしゃれなんですね。今いちばんの趣味は?

淡谷 そうそう。トア・ホテルね。朝早くにそこからトア・ロードを下りて行くのがとても良かつた。この頃は昔の面影がないですね。ほかにも忘れないのが神戸にはいっぱい。神戸に来れば必ず買う物、というのがありましたんですよ。化粧品なんです。トア・ロードのアメリ

★歌を愛しています

——来年はやっぱり五〇周年記念リサイタルのようなものを開かれる予定ですか。

淡谷 やるのでしようね。まわりでヤイヤイいってるみたいだから。私はもうなりゆきにまかせてるんです。でも今からどんなドレスを着ようかなって思ってるから、私もやる気なんでしょうね。(笑)

——ドレスが着たいから歌うのですか(笑)

淡谷 歌うからドレスを着るのか? ドレスが着たいから歌うのか? たぶん着たいのでしようね。(笑)

——歌を歌つてきて一番良かつたなって思うのはどんなことですか。

淡谷 私ね、自分の歌つてあまり好きじゃないの。

——どうしてですか。



歌手人生50年。今も美わしの淡谷のり子さんく於北野クラブ

淡谷 ヘタだもの。今日は良く歌えたって思う日ないんですもの。そういうものですね、歌い手になれば。でも歌を愛してるんですね。死ぬまで愛していこうと思うんですね。だけど、ステージに出ですごい拍手をもらった時と、ステージがすんとホツとした時は誰にもわからないでしょうね。私たちの特権ですね。戦後、進駐軍の仕事に入つてね、アーニー・ペイルつて劇場で時々私のショーがあつたんです。そこでいつだつたか「ダニーボーイ」を歌つて七回もアンコールがあつたんです。その時は歌い手になつて良かつたと思いましたね。だけどアーニー・ペイルつてのは外人専用でね、よくも私のヘタな英語でアンコールがあつたものですよね。ヘタな英語がおもしろかつたから何度もアンコールしたのかしら。

(笑)でもその時思い出しましたね、クラシックを始めに勉強してて良かつたなつて。

——歌を愛し、そして人間も愛し?

淡谷 人間も愛しましたけど、本当じやなかつたみたいですね、私の場合は。私は自分を愛してるんじやないですか。人を愛するなんて卒業しましたね。飽きっぽいからダメんですよ。本当に惚れんたんじやないんでしょうね。飽きることなんてないはずのものなのに、飽きちやうんですからね。突如面倒になつてしまつてね。(笑)やつぱり歌なんですね。

——歌の方へエネルギーがいつてしまつたのですね。

淡谷 そうみたい。当分この人は逢えないかもしけないつて時でも仕事の方へいつてしまふんですね。

——自由な女なんですね。

淡谷 自由なんですね。自由だといいんですよ。結婚なんて、あんな貧乏くさいのないですよ。(笑)私、結婚も経験したけれど、自分で働いて稼いで自由に使つてのからそういうのかしら、結婚つて本当に嫌ですね。旦那からお金をもらってそれで暮しててんの、耐えられないの、私は。(笑)自分で働いて自分の思うように使つて……だから早い話、男なんですよね、私。(笑)



但馬久美

遙くらら

玉梓真紀

鳳 蘭

ニューヨークッ子の留学生、
ディナ・ウィルキンソンが
●花のタカラジエンヌ
「風と共に去りぬ」インタビュー

鳳 蘭 〈レッドバトラー〉
玉梓 真紀 〈スカーレットII〉

“スターッテ、オオ キクミエルノネッ”

遙くらら 但馬久美 〈スカーレットI〉
〈アシュレー〉



ディナ・ウィルキンソンさん

——玉梓さんは、影の役としてどういったところが違うのです。

玉梓 スカーレットって二つの面を持つてて心で思つてることを口に出さず取りつくろつているようですね。そういうスカーレットが出されば……と思つて毎日やつてるんですけど。

玉梓 スカーレットってどちらしく、チャーミングで自分の心に素直な可愛い女性だと思うんです。そういうスカーレットが出て多いですね。裏面つていうか心で思つてることと口に出しちゃうことが違うのです。

——みなさん、役づくりの上でどういうところに苦心してらっしゃいますか

鳳 クラークグーブルのレッドバトラーは意識してますが、それに似せようという気はないです。

スカーレットがどんなに我まま勝手を言っても厚い胸でニコニコと笑いながら受けとめる男といったレッドバトラーを演じたい。

● DAYNA J. WILKINSON
宇井流金尊 出伊奈

身長 175cm、22才のニューヨークっ子。今春、エール大学(コネチカット州)日本学科で日本経済と日本文化を専攻して卒業。住友の基金による旅費補助を受け、約2カ月半の日程で日本全国を漫遊中。宝塚歌劇団へは、月刊「袖戸つ子」の特派記者としてハッスル。

ういうところに気を使つていらつしやいますか

玉梓 あのね、最初影つていうのを意識しすぎて……。人間つて心

で思つて、口に出るでしよう。スカーレットの位置よりも出過ぎないで、いかにパッと心を先に表現して、二人を一人に向けるかつていうんで苦労しました。まだしてますけど。

——鳳さんの髪については賛成の声と反対の声があつたようですね鳳 自分でも最初いやだつたんですけど、なんかみんな似合つて言われて（笑）今は喜んでつけています。

——但馬さんはステージを拝見した時にダンスが大変お上手だと思つたんですけど歌と踊りとお芝居では何が一番お好きですか
但馬 そうね、もう好きなのはダンス。私はもうちつちつい時からラバーをやつて、モダンに変わつて、なんせダンスをすることが好きで宝塚に入ったから、もう踊ることが何よりも好き。

——遙さんはテレビでもお見受けしてるんですけど、テレビと宝塚のステージとどちらが魅力的ですか
遙 うーん。全然違うもんだと思うんですよ。私宝塚の舞台好きですし、舞台には舞台の良さがありますから、でもテレビも違った意

味で好きです。これからもやつぱり舞台を中心にしていつてもしテ

レビがあるたら……と考えていますけど。

★スポーツを浴びて最高の気分

——鳳さんは宝塚以外でやりたいなと思ってることありますか。
鳳 宝塚以外で？男の人が入つたミュージカルをやってみたい。もちろん女役で。（笑）

——どういう時にやつてよかつたと感じますか

但馬 そうね、あの二十六段の大階段をスポーツを浴びて降りてくる

あの気持ちと、それから何千人の観客が拍手をもつて迎えてくれる……そういう雰囲気というのは舞台人でないと味わえないですね最高の気分ですね。それと役をよくやれてお客様に拍手を受けた時の喜びっていうのがやっぱりね。

鳳 舞台でお客様に拍手を受けたときというのは最高ですね。

——一ヶ月半も出づめの公演、健康管理に気をつけて下さい。

全員 よく睡眠とて頑張ります

△宝塚歌劇団にて▽

★インタビューを終えて

ニユーヨークで、サミーデイビスジュニア、トムジョーンズなどをインタビューした事がありましたが、初めて日本の俳優をインタビューしました。去年鳳蘭、但馬久美、玉梓真紀の演じた「ベルば

ら」を見ました。その上はとんど

毎日昼食を食べながら遙くらの場で主役の四人ともインタビュー出来るようになって張り切つて質問を考え、舞台裏へ行きました。

みんな衣装を着たままでしたが鳳蘭さんは髪をつけてませんでした。日本人の友達に手伝つてもらいました。日本人の友達に手伝つてもらいました。

俳優さんといふものは舞台ではとても大きく見えますね。演技や踊りが上手だと、よけいそう見えるのでよか。けれど近くでみるとごく普通の人です。髪をつけた鳳蘭さんのレッドバトラーは実に男らしくクラークゲーブルに似ているけれど、舞台が終われば男装をしていても鳳蘭さんの女らしさがすぐわかりました。

そして舞台で演じる役柄がそのままその人の性質でもあることが時々あります。例えば熱演した但馬久美さんがすごく親切な人で、舞台に表わす熱心さも個性的な優しさもインタビューで感じました

私の日本語は未熟ですが、ツレチヤン、リンチヤン、モック、ユミチャヤンたちと会えたことは、とても楽しい体験でした。



□座談会／ファッショントリニティ神戸への提案

神戸に蓄積されている情報を分析して再構成する工夫を

——本誌は過去二十四回にわたってキャンペーン「ファッショントリニティ神戸を考える」を開催してきました。

神戸市はまだファッショントリニティ都市宣言はしておりませんが、ファッショントリニティ都市づくりを標榜して以来、市民の間に意識的な変化が芽生え、色々な形で成果があがりつつあると思われます。

そこで、これまでの二十四回、百二十人に及ぶ各界の方々の意見を踏まえ、いわば総まとめの形で、これだけは必要だということを、産業界、行政、一般市民への注文という形でひとつ忌憚のないところをお話しいただきたく思います。

- ★ ポートアイランド・六甲アイランドは神戸の切り札
- C 一般市民のポートアイランドに対する認識ということがどうですか。どれだけ目を向けていますか。
- B もっと具体的にPRをしないと市民の理解を深められないのですが、神戸としては他の都市を意識した場合、勝負をするのはポートアイランドと六甲アイランド

をひらくための海上都市しかないと思いますね。神戸の切り札はこれしかないですよ。既成の市街地では制約があつて自由な絵が描けません。それが出来るのは海上都市しかないのでありますね。逆にいうとそれに対して一般市民も産業界ももっと関心を持つていいわけだし、もっと関心を持たせるようにすべきでしょうね。

C その切り札を生かすには何が大事かということが問題ですが、そのへんどうですか。

A おっしゃるようにポートアイランドは現在から将来にかけての神戸の大きな切り札であることは事実ですね。港湾都市としての神戸の明治百年の蓄積を次の百年へ如何に総合的に展開していくかというと、ポートアイランド、六甲アイランド、それと西北部の開発が大きな要であることは事実ですね。ただ、問題は、確かに要なんだけれども、そういった要を今一足飛びに使い切ることが出来るのかというと必ずしもそうじやない。可能性は確かに求めて行かないといけないけれど、今現に持つている実力、過去の蓄積を充実させて行くことをそれにつ

なげて展開して行くという二本の足のアプローチが非常に大事ですね。ややもすると可能性を追いすぎて、今、神戸の持つている質の方の充実ということがおろそかになつてゐるために将来に質の充実がないまま風船玉のように拡つてしまふことに下手をすればなるのじやないか」ということが一番の問題ですね。

たとえば神戸の町の魅力ということになると、三宮、北野、元町、六甲といった町の魅力が非常に大事なわけ

で、その質を高めることができが神戸にとって非常に重要なわけです。それをポートアイランドとか先端だけに目を向けて既成の町をおろそかにしてしまうとちょっと困る

B 町は性格が曖昧になつたときに亡んで行くと思いませんね。そういう意味で今のご指摘、いわゆる既成の市街地の性格が曖昧になって行くことは誠に危険だと思いますよ。神戸の町の性格は、よそ者といいますか、そういう人たちが入つて来てつくり上げたのですから開放性が特色ですね。だから地場の産業にこだわるということじゃなく他からどんどん入つて来ればいいのですが、何でもいいというわけではないと思いますね。選別が要ると思います。だから、もちろん旧市街地もその性格をハッキリさせて行かないといけないよう海上都市の方も積極的に全国からいいものを引っ張つて来らいいけれど、やはり、一つの考え方をハッキリさせて、一つのファイルターを通して、神戸の町の個性、特質を生かすような方向で引っ張つて來ることが絶対に大事だと思います

C 神戸の特徴を一言でいえば、センスを大事にする町ということだと思いますね。神戸の強味は市民性としてセンスを大切にする感覚ですね。それを忘れてはいけない。ポートアイランドにはシンボルをつくらないといけないです。永遠のシンボルを追い求める姿を市民に示さないと、おっしゃるようなことは追求出来ないと思うんですけど、つかりやついてはダメですよ。

A 何でもポートアイランドにつくるよりも既成市街地の質が高まるものなら既成市街地につくるべきだと思いま

ますね。ポートアイランドは将来のためにおいておかないといけない。曖昧にポートアイランドを使うことはやめて、おっしゃったようにキチツとしたシンボルをつくり、本当にそこでなければいけないものをポートアイランドに配置するということ。それとコンクリートの建物が雑然と建っているのじやなくて、徹底的に木を植えて本当の意味のキャンバス・シティ、公園都市的な行き方を徹底して追求すべきだと思います。

B おっしゃる通りで、やはり、町づくりには一番基礎になる理念、哲学が必要ですね。ところが、残念ながら現実の問題としてはその哲学よりも、投資の回収の採算性が優先してしまつて。今、一番最初のスタート・ラインに戻つて議論をすることは結構なんですが、現実としては間に合わない。だから、どこかで妥協しながら出来るだけ理想に近づけるしかないのじやないですか。

A 確かにそうなんで、そこに活動力のあるものをつくって、その利用度によつて利率が得られるようにならないといけないということですね。

C だから、シンボルが要るわけですよ。シンボルは何も形でなくとも考え方でもいいわけで、シンボルを打ち出しておけば賛意が得られやすくみんながその気になると思いますね。

★ポートアイランドに神戸市の総合市庁舎をもつていく

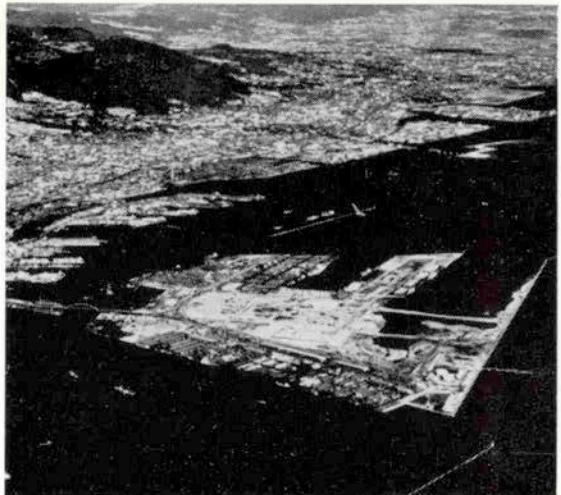
B 一部には神戸がファッショントリニティ都市宣言をしたと思っている方がおられるようですが、今の段階では、神戸がファッショントリニティ都市志向で行くことに対し市民のコンセンサスは十分に得られてないと思いますよ。

A そう思いますね。

B ファッショントリニティに対するものすごく誤解がありますねいわゆる流行というか、軽薄というか。だから、もっとファッショントリニティの本質を積極的にPRしていかないといけませんね。

C P.R.するということは行政もやらないといけないし

★ 神戸の産業と生活と文化の頭脳をリングさせる



神戸の“切り札”ポートアイランド

産業界もやらないといけないし、市民自身もやらないといけないでしようね。

B 行政が市民や民間にもっとPRしたらしいのじやないかというのは確かにそうなんですが、現実にポートアイランドが出来つつあるのですから、学界であろうと産業界であろうと、色んな分野があれに対してもっと積極的に発言してもいいと思うんですよ。

A 提案すべきでしようね。

C 市役所をポートアイランドへ持つて行くべきですねあそこへもつて行つたら、身近かな問題として、みんながポートアイランドに関心を持つようになると思うのですがね。例えば10年計画で30階建ぐらいの規模の神戸のこれから百年のシンボルとしての役所を考えると、本当にポートアイランドが生きてきますね。

B 少なくとも一番利にさといはずの神戸の経済界からポートアイランドに対し具体的な発言がないといふことは理解に苦しみますね。その意味ではホテルを建てるということは評価していいと思いますよ。

C ここでもう一度原点に帰つて、神戸とはどういう町かというところから将来を見て行きたいのですが。最初に申し上げたように町の性格がボヤけたときに町は衰退すると思います。神戸の質をもう一度再認識してそれを強める方向は絶対に必要ですね。それは既成の市街地でやることでしようね。

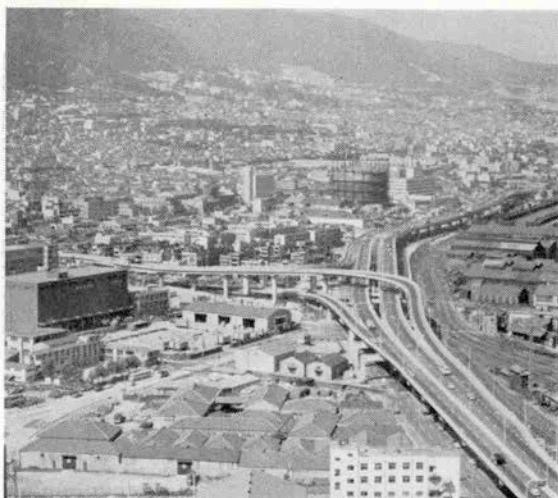
A 既成の市街地でやることとポートアイランドでやること……。神戸は港湾都市で海と山があつて、住むための条件が将来的にも展望があるという点では他に仲々ないと思いますね。大阪は住むための条件をつくるために並々ならぬ努力が要るわけですよ。京都はその条件は持っていますが、外から入つて行けないし、また、外から入つて京都をムチャクチャにしたらダメですね。京都は今まが一番いい。神戸こそ将来性を持つているわけです。都市はつくられるものだと思いますね。目標さえキッソリしておればみんなでつくれる。神戸も自信を持つてつくるべきだと思いますね。

C 日本の都市に一番欠けているのは「共感の広場」、心を一つにする広場、ゆるやかな連帯をつくる広場とそれを統合、象徴する広場、シンボルですね。産業とか生活とか文化とかがつながるリングが出来てないと違いますか。

A 神戸は今までの臨海工業は要らないけれど、六甲アイランドに産業を持つて来ないといけないですね。それで西北神は中途半端な研究学園都市といわないので内陸工業の高い産業を持つて来るべきですよ。いい職場を持つて来ないといけない。

B もう一度神戸の産業構造を見直して行かないといけないです。

B かつての神戸の基幹産業であった海運、鉄鋼、造船が今、不況に見舞われているのですが、それらの企業が持っているノウハウを新しくもう一度神戸向けに利用し直す方法はないのだろうか。頭からこれはダメだというのじやなしにね……。



旧市街地と海上都市とをどうバランスさせるか

C 今まで人口の集積が都市であり、工業生産地だけが都市であったのですが、今や、情報生産地が都市でしょう。今のこの二次産業の情報のストック、これを生かすべきでしようね。すごいノウハウがありますからね。

B その通りで、神戸のこれまでの基幹産業を一度分解して、そのノウハウを神戸向きに組み立てる作業が必要だということです。どなたかがいっておられたけれど、造船はすべて受注生産、オーダーメイドですね。このへんがたとえば自動車産業と全然違うところですね。下請けだってそういうところで育つて来ているわけで、熟練度の高い技術があるはずですね。そういうものをファクションというか、生活関連産業に再生させる方法はないのだろうかと思いますね。

C 造船などの総合蓄積産業はないですからね。それと持っているノウハウを新しくもう一度神戸向けに利用し直す方法はないのだろうか。頭からこれはダメだというのじやなしにね……。

A 産業と生活と文化がリングになつていませんからねとは意味がないですね。交通不便で、生活不便な工場団地をつくつても仕方がないわけですよ。また、神戸外大は女子大化してあれは税金の無駄使いだという話があるのですが、せっかくの外大をどうやって生かすかという議論が必要ですね。極端にいえば、教養部、国際関係、国際経済などの系コースをつくつて、それなりの陣容を整え、本当に市民の大学にすべきですね。

C 大学は都市のド真中に持つて来るべきですね。

A 極端にいえばボートアイランドでもいいですよ。神戸市立国際大学というように中味を考えることが大事ですよ。総合大学にする必要はないけれど、色々な意味から国際関係を学ぶ大学にしたらいですね。たとえば、客員教授という制度をつくつて、陳舜臣さんになつて貰う。

B そうですね。神戸にある頭脳を大切にするべきですね。

A 人間を生かさないといけないです。

B 今のシステムは人間をつぶしていますからね。

A 東京大学の造船学科の一、二番は神戸の三菱造船へ來たといいますからね。神戸に日本のエリートが来るのはあそこだけだという。だから、すごい人材があるわけです。しかし、そういう人材が神戸の町とつながっていない。神戸製鋼もそうです。

★ 神戸のオリジナリティでいかに勝負するか

B 都市を支えるのは産業ですから神戸でも産業は大事ですが、神戸の地理的な条件その他を色々考えたら、やはり中小企業を大事にしないといけないですね。もう一つは、みなさんが知識集約型産業ということをおっしゃるのですが、それはそれでいいのですが、高度な労働集約型産業も神戸を舞台に考え直さないといけないと思いますね。

A おっしゃる通りですね。職人産業は現にやっているわけですね。洋菓子産業は日本で最高ですね。

神戸における職人文化をどうするかということはものすごく大事ですね。ファンションというとき片一方に必ず職人文化をやらないといけないです。ギルドですね。もう一度神戸でギルド・ソシアリズムをどうやってつくつて行くかが大事だと思いますよ。

B それと倉敷のアイビー・スクエア。あの精神というか、考え方は参考になるのじやないですか。

A あれについては色んな考え方がありますが、長い長い時間がかかるんですね。

B 倉敷には大原美術館などがありますが、アイビー・スクエアによって潤っていますね。来る層も若くなつて来て、町全体が活気を持っていますね。

C アイビー・スクエアでみられるような若者の文化がグンと出て来ないとダメですね。音楽や絵画という文化でゆるやかに都市を結び合わせる、共感というか心を一つにする。そうしないと都市は発展しないし、活力が出て来ないですよ。

B 北野の異人館を利用した美術館も考えられますね。そういうものの集積が神戸らしさをつくって行くわけでしょう。小磯良平、小松益喜……色んな方がおられますからね。そういう肌理の細かいサービスをしてあげないと、せつからく神戸へ來ても失望をして帰るだけですから

C 一番困るのはよそからお客様が来て神戸を案内して、思つたらハタと困る。

B 理屈っぽいえば、ベーシックなところで、今の大學生の問題だとか、町づくりの哲学の問題とか、産業構造とか色々あるのけれど、結果的にはもう少し神戸らしさを上手に演出して、うまくつながないといけないということですね。そのためには、たとえば、小磯美術館も結構だし、神戸洋画館もいい。内容にはこと欠かないですよ。

A それと、神戸土木館もつくりたいですね。土木の設計図を日本のコレクターから全部集める。埋立て地の図面とかいっぱいあるわけですよ。居留地のもあるし。それは原口記念館でもいいと思うんですよ。絶対にやるべきだと思う。

B 産業考古学をやらなければいけないですね。

C そういうことをひつくるめて神戸らしい観光産業を見直さないといけないです。

A そもそも今までの観光ではなくて倉敷のようすに神戸ならどういうオーリジナリティで勝負できるかということですね。たとえば、聚楽館でも松竹座でもいいけれど、淀川長治さんになつて貢つて、土曜日の夜だけでいいから往年の名酒祭をやつて欲しいですね。新開地復興には一番ですよ。月に一回は淀長さんが話をしに来る。

B 松竹座を借りて新開地文化センターにしたいですね

C それと世代間において生活意識が変つて来たということが大切ですね。これを産業も行政も市民も認識して対応していかないと困りますね。

B それは感じますが、妙に先取りしない方がいいと思つています。

C その意識の変化がどんどん神戸的なものへ向つているということですよ。だからこそ、市民も行政もみんな頑張らないといけないということですね。

—— そうですね。

B 具体的に動くときだということですよ。

—— じこうもありがとうございました。

ウシオ工業株

取締役社長 牛 尾 吉 朗
神戸市葺合区浜辺通 5 丁目 2 の 1
神戸商工貿易センタービル 18 F
T E L (078) 251-1651 (代)

田崎真珠株

取締役社長 田 崎 俊 作
神戸市葺合区旗塚通 6 の 3 の 10
T E L (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川 上 勉
神戸市生田区伊藤町 121
T E L (078) 321-2111

(株)ワールド

会長 木 口 衛
神戸市葺合区八幡通 3 丁目 1 の 12
T E L (078) 251-5311

カネボウベルエイシー株

取締役社長 福 岡 必 三
神戸市生田区三宮町 1 丁目 43 番地
T E L (078) 392-2101

(株)ベニヤ

取締役社長 松 谷 富士男
神戸市生田区三宮町 1 丁目 54
T E L (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 篠 野 友太郎
神戸市東灘区御影本町 6 丁目 11 番 .9
T E L (078) 851-1594

入 船株

取締役社長 小 泉 進 吉
神戸市灘区新在家北町 1 丁目 1-19
(阪神電鉄新在家南) ブリコビル 3 F
T E L (078) 851-3191

神戸地下街株

さんちかタウン・サンこうべ
神戸市生田区三宮町 1 丁目 1
交通センタービル 8 F
T E L (078) 391-4024 (代)

キャンペーン「ファッショントリトリー神戸を考える」の企画は以上 9 社の提供によるものです。



暑中お見舞い申し上げます

一九七七年
夏 盛



乾汽船株式会社

株式会社 神戸製鋼所

取締役社長 乾 彦

神戸市生田区海岸通八番
電話（〇七八）三三一一三三六六四

取締役社長 杉澤英男

神戸市葺合区脇浜町一―三一八
電話（〇七八）二五一―五五一

株式会社 ダイエー

取締役社長 中内 功

吹田市 豊津町 九一 一
電話 (〇六) 三八〇一四一四六

日本香料薬品株式会社

取締役社長 小野 一夫

神戸市葺合区脇浜町三丁目三一二
電話 (〇七八) 二三一一九七五代

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作

神戸市葺合区旗塚通六丁目三一一〇
電話 (〇七八) 二三一一三三二一

兵庫信用金庫

理事長 園田 正和

本店・姫路市北条口一〇八番地
電話 (〇七九二) 八二一一二五五地

神戸本部・神戸市长田区 大橋町四五五地

電話 (〇七八) 六四一一五一五
一五五地

株式会社 ミキモト

代表取締役 本間 利章

神戸市生田区三宮町一五二
さん プ ラ ザ 七 一 階
電話 (〇七八) 三三三一三七一五

石野証券株式会社

取締役社長 石野 成明

神戸市生田区栄町通二丁目八一二
電話 (〇七八) 三九一一〇〇〇一四

関西貿易株式会社

取締役社長 竹田 剛男

神戸市兵庫区出在家町二一六一九
電話 (〇七八) 六七一一六〇二二代

三輪運輸工業株式会社

取締役社長 三輪 吉郎

神戸市兵庫区脇浜町二丁目一一一
電話 (〇七八) 二五一一五〇〇一代

島文工業株式会社

取締役社長 島田 文六

神戸市灘区岩屋中町四丁目二一七
電話 (〇七八) 八七一一五一八一

神戸地下街株式会社

さん ち か タ ウ ン
サ ン こ う ベ

神戸市生田区三宮町一丁目一
電話 (〇七八) 三九一一四〇二四代

暑中お見舞い申し上げます

一九七七年
盛夏



角南商事株式会社

取締役社長 角南 猛夫

神戸市葺合区小野柄通七丁目一番
(三) 宮ビル 8 F
電話(078) 251-1551

株式会社 大丸神戸店

店取締役 長尾 信一

神戸市生田区明石町四〇
電話(078) 331-1812(代)

甲南漬本舗

高嶋酒類食品株式会社

取締役社長 高嶋 平介

神戸市東灘区御影塚町三丁目九一一六
電話(078)八四一〇五五一四

岡添真珠株式会社

代表取締役 岡添 貞撫

神戸市生田区山本通一丁目一番地
電話(078)二四二一四四四代

早駒運輸株式会社

取締役社長 渡辺 正二

神戸市生田区波止場町中突堤中央ビル
電話(078)三三一〇一五一四

今津建設株式会社

代表取締役 今津 成生

神戸市兵庫区吉田町二丁目二六一四
電話(078)六七一三六三三二四

ワシオ産婦人科診療室

不妊・避妊クリニック

室長 鶯尾 隆

神戸市生田区元町通一丁目二〇一七
(石原ビル) 電話(078)三九一五九一九

麒麟麦酒(株)神戸支店

支店長 長山 和夫

神戸市葺合区御幸通四丁目一一一
電話(078)二五一八一五一四

株式会社山勝真珠

代表取締役 会長 山本 勝

神戸市生田区山本通二丁目七七
電話(078)二三一〇〇五一四

(株)N・B・F・I・ズ

代表取締役 保田 信之

神戸市東灘区魚崎西町四一一一二二
電話(078)八五一四五九五四

有 神戸損害保険事務所

代表取締役 大原 孝夫

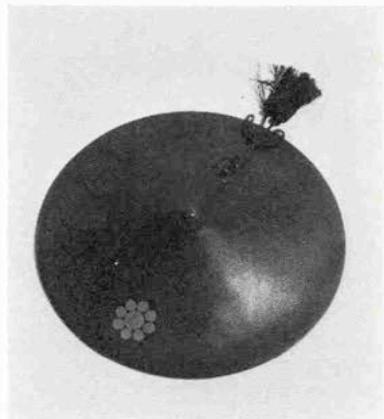
神戸市垂水区西脇一丁目三一一三
電話(078)七八三一五六〇一

佐本小児歯科

院長 佐本 進

神戸市生田区加納町五丁目三九
住友銀行三宮ビル六階
電話(078)三三一六三〇二七三

刀劍 古美術



陣笠(九曜定絞入)12萬円

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一ヵ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 古 美 術 元町美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

ビロードの味
アイスクリーム



ビロードの味で楽しまれる
フランス風伝統のアイスクリーム。
(125ml入 ¥200 · 480ml入 ¥600
· 960ml入¥1,200 · アイスコーン¥150)

創業80周年

80



神戸風月堂

本社/神戸元町3丁目 (078) 391-2412